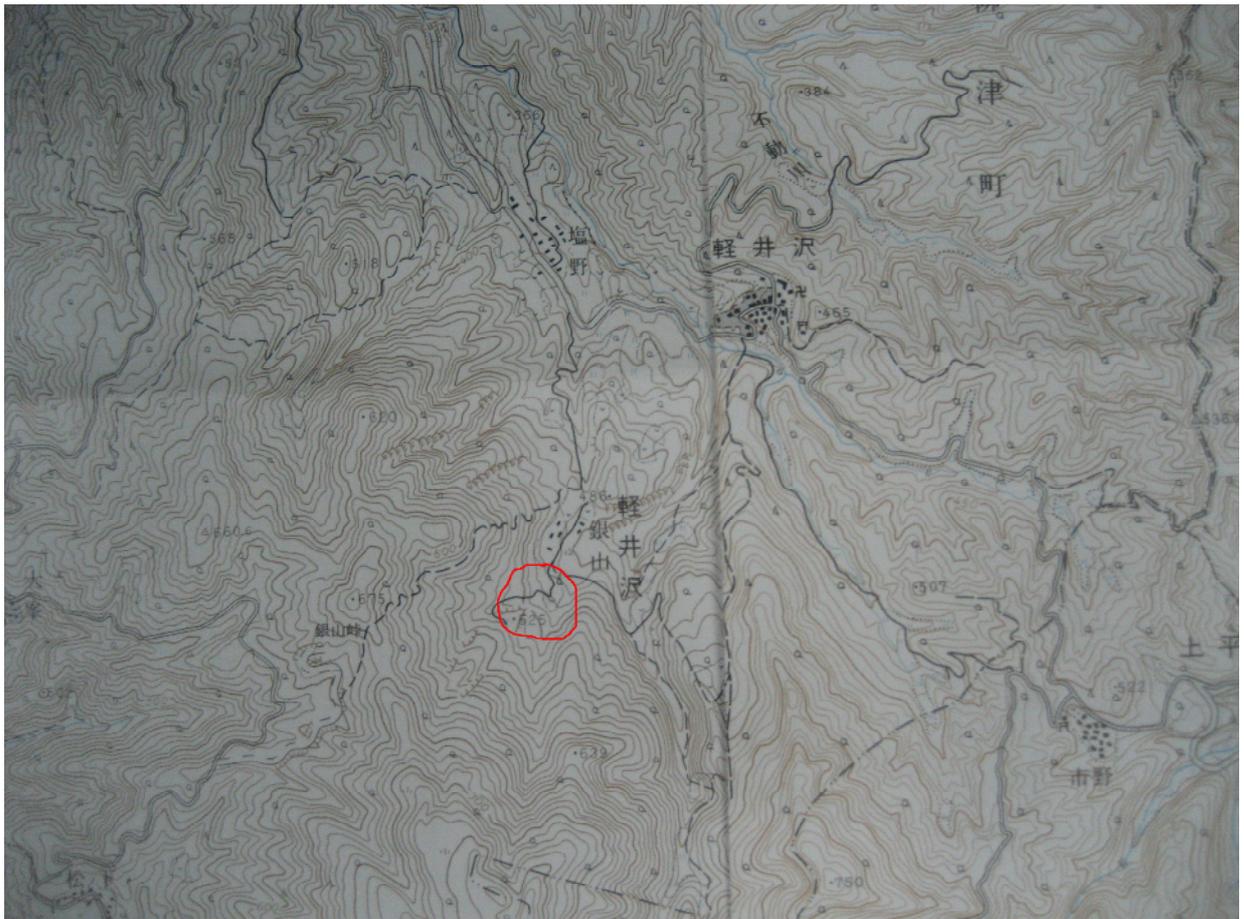


(68) 軽井沢銀山跡

参考文献(1)(2)を手引きに福島県河沼郡柳津町にある軽井沢鉱山の探査を行った。参考文献(1)によれば、本鉱山は石英粗面岩(=流紋岩)に胚胎した銀を採掘していた。銀以外の金属としては鉛、亜鉛などを産出していた。鉱石鉱物は、方鉛鉱、閃亜鉛鉱、黄鉄鉱などがある。

鉱山への経路は次の通りである。磐越自動車道を会津坂下インターチェンジで降りる。252号線を南下し、会津柳津地区で、52号に入り猪鼻、塩野地区を目指して、南下していく。塩野地区には、進行先の右側に「銀山」の案内看板が掲示されている。分かり易い。掲示板に従って細い道を登っていく。看板から1km弱で、前方に煉瓦製の高い煙突が見え、その前が広い空き地になっているのがわかる。地形図にもこの煙突が記載されている。鉱山所の煙突であることに間違いはない。記念に残しているのであろう。このあたりに駐車ができる。林道脇には銀山としての記念碑もある。煙突の山側には沢山のズリ山が見える。車を降り、林道を歩いてまもなく、大きなズリの上に出る。周りにはその他のズリ山が一杯である。ズリは流紋岩だらけである。この中に細脈状に銀鉱脈が入っているらしいが、どのズリ石が良いのかは素人目には難しい。



地形図1 赤丸一带に幾つものズリ山がある。

地図 国土地理院 2万5千分の1地形図「宮下+会津高田」
探査日 2010年 11月

参考文献

- (1)「日本の鉱床総覧(上巻、下巻)」、日本鉱業協会、1965年、非売品。
産総研(つくば市)の地質調査所図書室で閲覧可能。
- (2)「日本鉱山地質学会30周年記念 日本の鉱床探査 第2巻」、日本鉱山地質学会、1984年。



地形図2 拡大図 煙突の南西方向一帯に多数のズリ山がある。
 多すぎるのでズリ跡は書き入れていない。坑口跡は見つけていない。坑口の1つは煙突のあたりにあったようである。初回であったので、十分には探査していない。次回以降を期待している。

鉱山跡写真



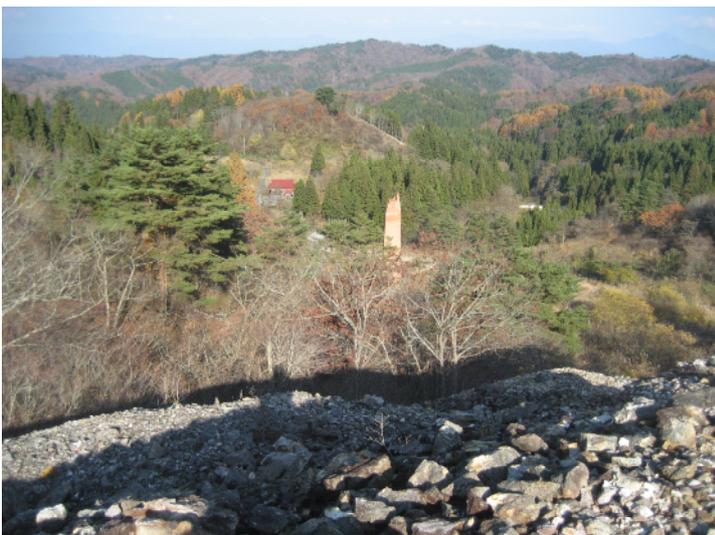
塩野地区を南下していると、右側に「銀山」の看板（青色）がある。これに従って、右側上方の側道に入っていく。



1 km弱林道を登っていくと、左前方に高い煙突と、その前に広い空き地がある。空き地での1枚。煙突の向こうには幾つものズリ山が見える。



林道を徒歩で登って、ズリ山の1つから他のズリ山を見ている。



ズリ山の1つから、先ほどの煙突を見下ろしている。辺り一面流紋岩のズリである。

採集鉱物写真

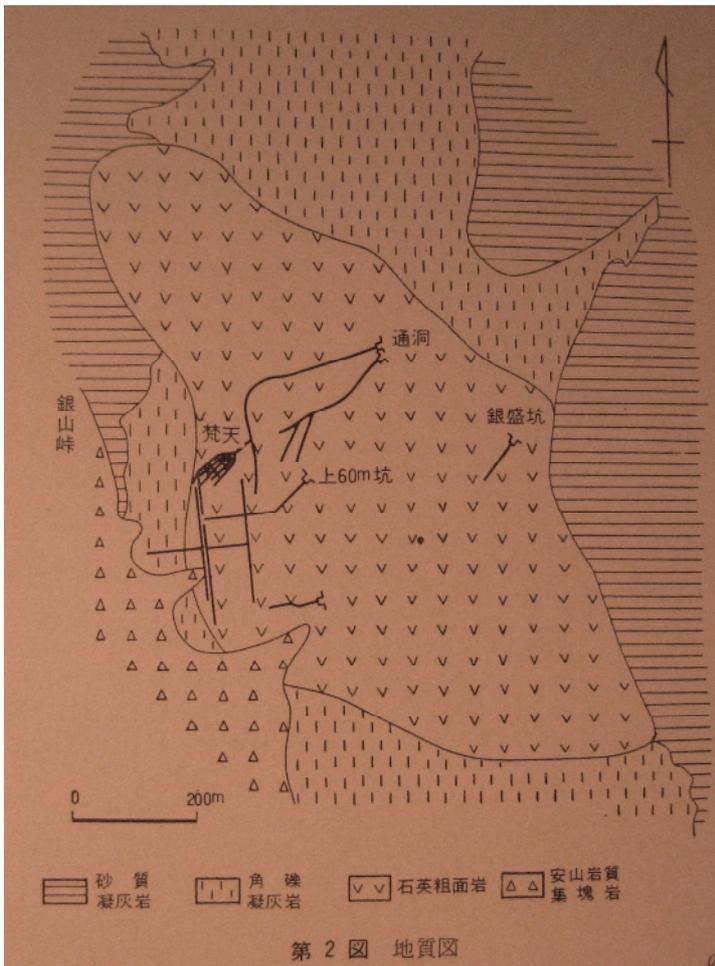
細脈の入っている流紋岩を幾つか採集した。細脈に銀が入っているのだろうか。

参考資料

軽井沢銀山に関する、参考文献(1)からの一部資料を複写掲載する。



少なくとも42年以上も前の地形図である。現在の地形図と対応比較するのも楽しい。

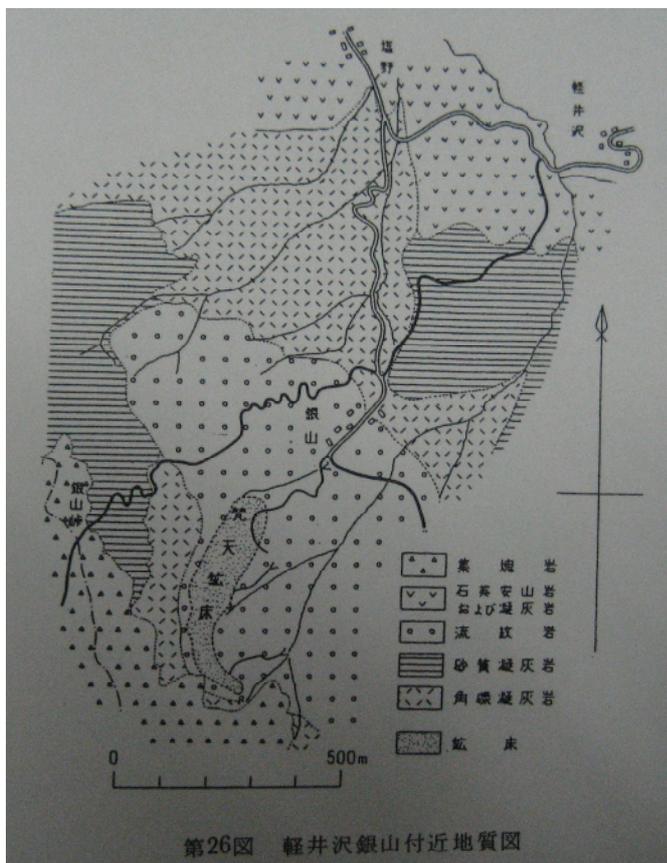


この地質図を、現在の地形図と対比するのも、面白い。通洞坑の位置は、現在の地形図中の煙突記号あたりに一致しているとみた。

軽井沢銀山に関する、参考文献（２）からの一部資料を複写掲載する。



福島県会津若松市の西方にあることがわかる。



これを、現在の地形図、前掲の地質図と対照させると、色々なことがわかる。

(2 0 1 0 年 1 2 月 7 日 筆)